

令和5年6月12日（令和5(2023)年度第14号）



全国保育士会委員ニュース

本ニュースは、全国保育士会委員、顧問、監事、都道府県・指定都市保育士会事務局に送付しています。

社会福祉法人 全国社会福祉協議会
全国保育士会事務局

〒100-8980

千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

TEL 03-3581-6503

FAX 03-3581-6509

Mail hoikushikai@shakyo.or.jp

<https://www.z-hoikushikai.com>

<ニュースの内容>

- 第34期主任保育士・主幹保育教諭特別講座 修了式を開催
- 【参集開催】第56回全国保育士会研究大会（静岡大会）
「特別分科会」発表者募集のご案内

■ 第34期 主任保育士・主幹保育教諭特別講座 修了式を開催

本会は、令和5年6月3日（土）、第34期主任保育士・主幹保育教諭特別講座の修了式を開催しました。

「主任保育士・主幹保育教諭特別講座」（以下、特別講座と表記）は、保育所・認定こども園等の中核を担う主任保育士・主幹保育教諭の専門性の向上が、保育の質の向上に直結すると考え、全国保育士会において、昭和62年から開催しているものです。



謝辞を読み上げる仲山氏



開会の挨拶を行う村松会長



1年間支え合ったゼミ仲間との記念撮影①



1年間支え合ったゼミ仲間との記念撮影②

特別講座は、1年間を通じた講義とゼミ指導、レポート作成を行い、最終的に受講者自身で1つのテーマを決定し、研究を行ったうえで、修了論文を作成いただきます。多彩な講義はもちろん、講師による直接のゼミ指導が複数回実施されることで、高度な専門性と指導性を身につけることができることにくわえ、主任講座終了後もお互いに支え合う仲間を全国につくることができます。

第34期特別講座（令和4年度開催）は、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、講義やゼミ指導を含め、そのほとんどをオンラインで開催し、修了式についても、オンラインでの実施となりました。

修了式当日は、オンライン上で修了証書授与や、受講生より謝辞が行われるとともに、ゼミごとに分かれて1年間の振り返りを行いました。第34期特別講座は33名が修了し、31名が修了式に出席するとともに、ゼミ指導講師7名（2名欠席）が出席しました。

受講生の謝辞においては、太田ゼミの仲山裕美さん（栃木県）より、「画面越しではあったが、講師の先生や修了生の真剣に学ぶ表情を見ることで、全国の仲間と共に学ぶ機会に巡り合えたことが嬉しかった」、「ゼミ指導の先生は丁寧に私たちの話に耳を傾けてくれた」、「ゼミ仲間とは、園の様子や情報交換、考え方に触れられたことが参考になり、励まし合う仲間がいることの心強さが有難かった」など、特別講座で得たものや、講師へのお礼をお伝えいただきました。

第35期（令和5年度）特別講座は、4年ぶりとなる参集での開催（一部講義をWEB）となります。まだ受講いただいていない主任保育士・主幹保育教諭（または、それらに準ずるもの）のみなさまにおかれては、ぜひ来年度以降の受講をご検討いただければ幸いです（第36期の開催案内は、12月頃に保育士会だよりとともに全会員へお送りします）。

修了式次第

- ・全国保育士会倫理綱領、食育推進ビジョン唱和
- ・あいさつ（全国保育士会会長 村松幹子、全国社会福祉協議会常務理事 金井正人）
- ・講師紹介（千葉 武夫氏、清水 益治氏、咲間 まり子氏、堀 科氏、太田 光洋氏、金子 恵美氏、（当日ご欠席：荒木 友希子氏、星山 麻木氏））
- ・修了証書授与
- ・修了生謝辞（第34期修了生 栃木県 仲山 裕美氏）
- ・第34期を顧みて（千葉 武夫氏）
- ・1年間の振り返り（ゼミ毎）

■【参集開催】第56回全国保育士会研究大会(静岡大会)「特別分科会」発表者募集のご案内

全国保育士会研究大会では、会員自らが主体的に発表をする「特別分科会」を設けています。「特別分科会」は、自らの実践の発表に対し全国の仲間と意見交換を行うことで、保育の質の向上を図る場として位置づけており、静岡県浜松市で10月に開催する第56回大会でも実施します。

第56回全国保育士会研究大会の特別分科会募集要項および発表申込書は、全国保育士会ホームページからダウンロードいただけます。

日々取り組まれている実践、先駆的な実践、研究的な実践など、幅広い実践の発表をお待ちしています。各都道府県・指定都市組織の会員への周知および、申込勧奨にご協力をお願いいたします。

【発表日】令和5年10月20日(金) ※大会2日目

【会場】アクトシティ浜松 他(静岡県浜松市中区板屋町111-1)

【締切日】令和5年6月23日(金)

※各都道府県・指定都市組織から本会への申込書送付の締切。

※発表の可否は、「大会運営委員会」における審査の上、令和5年7月頃にご連絡いたします。

【申込方法】「発表申込書」に必要事項をご記入のうえ、各都道府県・指定都市保育士会宛に、メールまたは郵送等で送付してください。

※「特別分科会」への申込は、各都道府県・指定都市保育士会事務局を介して、全国保育士会へお申込みいただく方法をとっております。

【前回(第55回)大会の発表者とテーマ】

保育士(園長) / 「幼児教育と小学校教育をつなぐ接続期カリキュラムに関する研究一保小交流活動から相互理解を深める一」

看護師 / 「医療的ケア児支援と就学に向けてのアクション」

指導保育教諭 / 「子ども同士が育ち合う保育一実践事例からの考察一」

管理栄養士 / 「食物アレルギーとクッキング活動の取組み」

詳細は、全国保育士会ホームページをご確認ください。

■第56回全国保育士会研究大会「特別分科会」発表募集要項および発表申込書

<https://www.z-hoikushikai.com/kensyukai/kensyukai.php?id=111>

■「第56回全国保育士会研究大会」開催要項および参加申し込み

<https://www.z-hoikushikai.com/> ※トップページ右下のバナーから申込いただけます。

第56回全国保育士会研究大会 ～「特別分科会」発表募集要項～

- 全国保育士会では、保育所や幼保連携型認定こども園、地域子育て支援センターなどの第一線で働く保育士・保育教諭等が一堂に会し、実践研究の発表や、保育をめぐる課題等を研究協議することを目的に、全国保育士会研究大会を毎年開催しています。
- 大会2日目の「実践研究分科会」では、会員自らが主体的に発表をする「特別分科会」を設けています。
- 「特別分科会」は、自らの実践に対し全国の仲間から意見をもらい、意見交換をおこなうことで保育の質の向上をはかる場として位置づけています。全国研究大会の場で、全国の仲間と実践の共有をおこない、ともに保育の質を高めていきたいと思います。
- 日々取り組まれている実践、研究的な実践など、幅広い実践の発表をお待ちしています。ふるってご応募ください。

1. 発表日：令和5年10月20日(金) (第56回全国保育士会研究大会2日目)
2. 会 場：静岡県 アクトシティ浜松、オークラアクトシティホテル浜松等
3. 発表内容：全国保育士会員の所属する保育所・認定こども園等からびに地域に於ける保育・子育て実践の実践に関するテーマ
4. 発表対象：全国保育士会会員
5. 発表時間：35分程度
【内訳：発表20分、司会者によるまとめ等5～10分、模範セッション5分】
※発表時間は、目安です。発表数により今後変更する可能性があります。

